



学校だより



青梅市立東小中学校
令和2年度 第6号
9月29日(火)

素晴らしい！！ 大成功の運動会、心が震える
たくさんの感動をありがとう！

校長 川窪 公夫

心配された天候にも恵まれ、無事故・大成功の運動会ができました。皆さんの全力が作り出した感動の運動会でした。堂々とした入場行進に始まり、整然として進んだ開会式では、力強く見事な選手宣誓があり、グラウンドには校歌が響きわたりました。ラジオ体操では代表生徒に合わせ、ひたむきに取り組む姿がさわやかでした。競技に入り、最初の100m走で

誰一人手を抜くことなく、ゴールを駆(か)け抜けました。小学生のソーラン節は、漁師さんの心意気を伝える躍動感(やくだうかん)があり、練習の成果が存分に発揮されていました。続く、中学生男子の集団行動演技は、きびきびとした動きの中にクラブ毎のコミカルなパフォーマンスも披露(ひろう)され、楽しい演技となりました。クロスカントリーは、小学生・中学生関係なく一斉にスタートし競い合う光景は迫力さえありました。完走を目指し、真剣な表情で走る姿にたくさんの声援が飛びました。集団演技の最後を飾(かざ)る中学生女子のダンスは、洋楽ポップスの軽やかなリズムに乗り、軽快なステップで、生き生きとした表現は見る人の心をひき付けました。また、恒例の綱引きは、寮の先生方も加わるエキシビジョンマッチもあり、なごめる一時でした。最後の種目となった紅白対抗選抜リレーは、応援席の子ども達が代表として走っている子ども達に一生けん命、拍手と声援を送る光景に胸を打たれました。閉会式でも整理体操にしっかり取り組み、集中力を切らさず、最後まで元気なあいさつができる皆さんの態度はとても立派でした。

当日を迎えるまでに全力を尽くし続けた道のりが尊い！

皆さんは、約2週間の運動会練習に全力を尽くしました。私は、皆さんの取り組みの道のりを見て、運動会は成功するだろうと期待していました。自分にとって、損(そん)になるとか得(とく)になるとか、そういうズルい考え方で動くのではなく、

【選手宣誓】

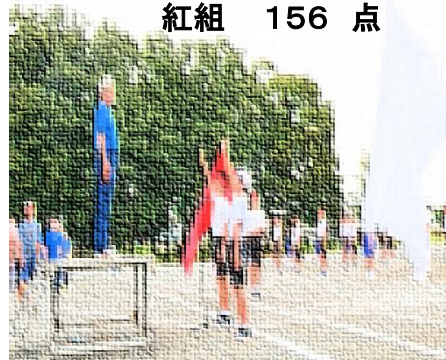
我々、選手一同は、日頃の成果を発揮し、紅白共に励まし合い、ワンチームを胸に最後まで一生懸命やりきり達成感が得られる最高の運動会にすることを誓います。

令和2年9月19日

<小学校代表6年男子>

<中学校代表3年男子>

優勝 白組 173点
紅組 156点



【開会の言葉】

中学校最後の運動会。僕は、勝っても負けても、悔いのない運動会にしたいです。そのために、全力で取り組みたいです。負けると思っただけでゆっくり走るのはなく全力で走り切りたいです。運動会とは、みんなで楽しみ、みんなで盛り上げ、みんなで作り上げるものだと思えます。今日まで、みんなで練習してきました。演技種目ではみんなが、きれいにそろっているところを、ぜひ見てほしいです。僕は、ハチマキをすると気合が入ります。皆さん、ハチマキに気合を込め全力を出し切りましょう。ただ今より、令和2年度第19回運動会を開会します。

<中学校3年男子>



ただ、みんなで作り出す運動会を成功させようと素直な心で自分にできることに全力を尽くしていたその姿が感動を生みました。**皆さんの全力には人を感動させる力がある**。そのことを忘れないでください。そして、今回の運動会で、皆さん一人ひとりに、一瞬が永遠になるような心温まる思い出が刻まれていたら、嬉しいです。結びに、励まし、支え、最後まで応援して下さった学園・寮の先生方をはじめ、関係の先生方に感謝申し上げます。

【閉会の言葉】

体を動かすことがあまり好きではない私が、今年のダンスは楽しくて、「早くやりたい。」という気持ちで毎回練習してきました。そして、だんだん練習していくうちに、「やってよかった。」と思える運動会にしたいと思うようになりました。きっと、皆さんも、そういう気持ちで、取り組んだのではないのでしょうか。運動会を終えて今、私は、後悔はないです。気持ちが落ちそうな時もありましたが、「やる時はやる！」と決めて、切り替えて、ダンスを踊りました。他の競技も同じです。苦手な事をやるのは辛いです。でも、やり切ったあとは、頑張った良かったと思います。私は、自分になかなか自信が持てず、みんなの前に出て話すのが、私でいいのかと初めは思っていました。でも今は、任されたことをやり切った良かったと思っています。皆さんも、今日の運動会で気づきやいろいろな思いがあると思います。それを自分のプラスや自信につなげていきましょう。応援して下さり、支えて下さった先生方、本当にありがとうございました。これを持ちまして、令和2年度第19回運動会を閉会します。



<中学校3年女子>

<シリーズ クラブ活動は今!?!> 第3弾 剣道部

剣道部は、「礼儀を大切にする」「自分に勝つ」を目標に掲げ、稽古(けいこ)に励んでいます。現在は、男子3人・女子4人(含、高等部1名)で活動しています。全員が初心者からのスタートでしたが、すり足の練習・素振りなどの基本練習を大切にして来ました。外部コーチの永澤先生のご指導もあり、今では、防具を付けて練習できるまでに上達して来ました。例年であれば、秋の1級審査や初段審査にチャレンジしているところですが、コロナウィルス感染の影響で難しいのが残念です。顧問は「剣道は人間形成の道です。剣道を通して、人として成長してほしい。」と語っています。剣道部の皆さん、暑さ・寒さに負けずに自分に勝ってください。



総合防災訓練が行われました

9月6日(日)学園の総合防災訓練が行われました。地震発生を想定した緊急放送が流された後、校庭に避難しました。不安定な天候であったため、予定していた放水訓練・炊き出し訓練はできませんでしたが、管理課長先生から、初期消火について丁寧(ていねい)な説明を受けた後、各寮、代表の子ども達が消火器を使い消火訓練を行いました。最後に園長先生から、防災への心備えについて大切なお話をいただきました。子ども達は終始、整然と並び、真剣に話を聞いていました。その後、寮に戻り、炊き出しの代わりに備蓄(びちく)しているアルファ米などの非常食を昼食にいただき、感謝の心を育むとともに防災への関心が高まりました。

